

## 水産業について伺う / 新垣雅士

■6番 新垣雅士議員 同じ農林水産の部分から、水産業についてお伺いします。水産業については、「モズク等海面養殖の更なる推進や、ヤイトハタ、キス等の陸上養殖における施設の機能強化等について、事業の導入に向け関係機関との調整を図っていく」とあります。しかし、その水産業の要であるモズクの加工場について触れられていないのはたいへん残念なのですが、それについて課長、答弁をお願いします。

■議長（金城信光） 農林水産課長。

■伊礼直樹農林水産課長 新垣議員の質疑にお答えします。ご指摘のとおり、モズク加工場につきましては平成15年度、平成16年2月25日に完了していますが、北部活性化事業により特産品モズク加工施設として整備しております。当該施設は長年にわたり本村の水産業振興に寄与しておりますが、現在の施設状況につきましては、組合長から内容のほう、農林水産課も含め承知しています。政策方針においても、モズク加工施設の機能強化等も含めて、モズクと海面養殖の更なる推進を行うものとしていることをご理解していただけたらと思います。

施設の整備におきましては、修繕を目的とした事業採択は非常に厳しいものがあることから、実施すべき機能強化の具体的な内容や、作業効率の向上に資するレイアウトの検討、整備期間中に発生する可能性のある出荷制限、塩蔵施設が利用できなくなるため生モズクのみのお荷となるなど、事業の導入に至るまでに関係機関との事前調整が必要となる事項が山積みしていると考えております。

また、補助事業の採択において、季節の固定資産の償却前処分が発生する場合は、関係省庁との入念な事前調整が必要となりますので、本村の水産振興におきましては、モズクを基幹作目として推進していく計画がありますことをご理解していただきたいと思います。引き

続き 5 次総合計画の中の施策農林水産業への技術導入の推進と、新たな人材の確保に基づき、政策を引き続き推進していきたいと考えております。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6 番 新垣雅士議員 機能強化等で事業の推進をしていくということでありますけれども、重複する部分があるかと思いますが、現状を述べたいと思います。まずモズクの海面養殖等の更なる推進ですが、ご存じのとおりモズクは短期間の収穫になるため、現在の工場では受入れがかなり厳しく、また、施設自体の老朽化も著しいので、加工業者からの要望にも応えられない状況にあるんですね。

それから、ヤイトハタ、キス等陸上養殖機能強化について、課長から前向きなご答弁でしたけれども、このモズクの海面での増産とかいうことになりますけれども、海面の生産を増やそうにも、受入れ体制が整っていない限り、これ以上生産量を増やすこともできない状況にあるので、申請もろもろ、予算面が厳しいのは重々承知していますけれども、ここに対しても早急な対応をお願いしたいと。

それから、まず施設を新設して、水産だけでなく農業もそうですけれども、これを盛り上げていく。先ほど村長もちょっと述べられてましたけれども、産業を掘り起こしていくことで、雇用を生み、人口減少にも歯止めがかかる。そうすることによって、昨日もお話に出ました交付税等の増加も見込まれると。自主財源が増えていくということにもつながると思っておりますので、是非早急な取組をしてくださるようお願いしたいと思っておりますけれども、一つだけここには書いてはないんですけれども、村長、この産業振興、それから島の人口減少に歯止めをかけるという意味でも、大学の誘致の話がありますけれども、現状どのような状況か、答弁をお願いします。

■議長（金城信光） 名嘉律夫村長。

■名嘉律夫村長 新垣議員の質問にお答えします。まさにこれから一番重要なことは、やっぱり産業ですね。そしてやっぱり定住促進、それと人材育成なんですけれども、今質問された大学の誘致については、JA から、旧製糖工場跡地、その周辺の JA の所有している土地を全部含めて、伊平屋村に譲渡するということが決まっております。今、手続きを進めているところなんですけれども、なるべく早く解体をして、そこにしっかりと大学を誘致できるような準備を、早速やる予定です。なにしろ大がかりな解体工事で非常にお金もかかるということで、いずれにしても事業でもって解体を早めに進めて、福山大学の誘致に向けた取組を進めていきたいと思います。

また、5 月には福山市のバラ会議がありますので、40 名ほど行くんですけれども、団体も一緒に行動しますので、一緒に大学に出向いて、今後の状況と誘致に向けた報告も含めて大学に報告しながら、この取組を進めていきたいと考えています。以上です。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6 番 新垣雅士議員 村長、前向きな答弁をありがとうございます。まず陸上での養殖と、大学との提携をしていく中で、現在でも陸上キス養殖のところで、当該者が 5 名ほどいます。昨日、今日からも 1 人また入っています。漁協のほうにも近々、できれば地域おこし協力隊として入ってもらいたいという方もいますので、定住という観点から、定住者促進住宅も含めて、前向きに検討を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。